

東久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月版）（案）についてのパブリックコメント実施結果

募集期間：平成28年1月29日（金）～2月19日（金）

意見提出者数： 3名

意見件数：10件

項目	提出されたご意見の概要	提出されたご意見に対する市長の考え方
<p>■地元産業の安定化や活力の向上等</p>	<p>●農業の6次産業化は、是非早い時期に実現してほしい。このゴールは道の駅の実現にあると思う。</p>	<p>○農業の6次産業化については、今年度策定する東久留米市農業振興計画においても「魅力ある農業経営づくり」として施策の柱のひとつに位置付ける予定としており、今後も施策の展開を図ります。</p>
<p>■健康増進・サポート事業</p>	<p>●健康課のマイレージプラン、健康増進・サポート事業東久留米版は先進的なもので、大いに推進してほしい。</p>	<p>○当該事業については総合戦略の東久留米チャレンジプランとして位置付けており、東久留米市の地方創生につながる大変重要な事業であることから、特に推進を図ってまいります。</p>
<p>■観光資源活用促進事業</p>	<p>●観光資源活用促進に第三者的見地を利用して、プランナーの役割を与えてみてはどうか。</p>	<p>○平成27年度において、東久留米市観光振興分析調査報告書を作成しました。作成にあたりましては、第三者的見地をもつ業者をプロポーザル方式で募集し委託しております。この報告書で提示した10通りの『市の「かんこう」スタイルの方向性』を念頭に市地域産業推進協議会での検討内容も踏まえながら、観光資源活用促進を図ってまいります。</p>

<p>■防犯灯の LED 化に伴う維持管理事業</p>	<p>●東久留米市は、メイン道路でも夜になると暗すぎて、都市とは思えない。今後の喫緊の課題だと思う。</p>	<p>○東久留米市では、道路照明（防犯灯は除く）を整備する場合は、都の設計基準に基づき道路の交通量、設計速度、交差点のなどの様々な条件を考慮し設置箇所、照明器具を決めて設置しております。しかし、灯具の汚れなどにより当初の機能を発揮していない照明もありますので、具体的な路線、場所をお示し頂ければ改めて基準の照度が確保されているかなど確認し対応を検討します。</p>
<p>■防災行政無線デジタル化工事</p>	<p>●防災行政無線デジタル化における、コミュニティ FM 放送解説と情報伝達の連携を提案する。屋外の防災行政無線と連携することで、より効果的に市民への情報提供が可能になるほか、双方の設置・構築にかかる費用も抑えることが出来る。ご検討いただきたい。</p>	<p>○一般的なラジオで聞ける FM 放送であれば、有効性を検証していきたいと考えています。</p>
<p>■その他</p>	<p>●ふるさと納税制度の成否は他自治体の成功事例を見ると、担当部署の熱意とアイデア次第にあると思う。試行錯誤を繰り返し成功させてほしい。</p> <p>●観光大使制度を実行している都市を数多く見ている。東久留米市も遅ればせでも検討してみてもどうか。</p> <p>●市庁舎の有効活用を図るため、郷土資料館を 7 階に設置してほしい。縄文遺跡から出土した壺など、郷土の歴史を目の当たりにし、風土を愛する心を育てることが出来ると思う。</p>	<p>○今後も東久留米市のイメージアップに資するような特産品を贈呈品として取り扱う等取り組みを進めてまいります。</p> <p>○地域の魅力を広く PR していただける観光大使につきましても、他の区市町村の取り組みなども参考にしながら、実施について調査研究していきたいと考えております。</p> <p>○郷土資料館を本庁舎の 7 階に設置するというご提案ですが、現在、市では滝山のわくわく健康プラザで郷土資料室を整備し、展示に供している状況から、本庁舎 7 階へ設置することは難しい状況です。</p>

	<p>●安心して子育てが出来る安全な街づくり目指すため、全戸にワッペンや防犯ベストなどを配布し、散歩や買い物時に着用するなど、住民一人一人が防犯委員となる事業を行ったらどうか。</p>	<p>○市では2名以上の団体様を対象に「防犯ボランティア」の募集を行っています。登録の際に希望すればベストを貸与しておりますので、多くの市民の皆様に登録をしていただきたいと思います。</p>
	<p>●各地で成功事例にみられる朝市を、東久留米でも実施したらどうか。</p>	<p>○今年度策定する東久留米市農業振興計画においても、消費者が農産物を手に入れやすい体制をつくることは「魅力ある農業経営づくり」として市の施策の柱のひとつに位置付ける予定としており、市民が身近に地場農産物や加工品を入手できる流通・販売体制を確立するとともに、市民ニーズに応じた直売や観光農業の研究、開発を進める方向性を示しているところです。市では、今後多様な農産物の販売、流通の支援を行うものとしており、ご提案の「朝市」も農産物の販売方法として検討・支援の対象と考えております。</p>